

とやま×創薬ベンチャー MEET-UP DAY

入場
無料

「受託ビジネスはさらに躍進できるか

～創薬ベンチャーとのマッチングの可能性～



日時 令和4年
12/16 日
●13:00～17:30

会場 富山県民会館304号室（富山市新総曲輪4番18号）
会場定員 **80名** ※定員に達し次第、締め切りとなります。
オンライン同時開催 (ZOOM)

1 Opening Remarks

13:00～

2 Introduction

13:15～

1. 「医療系ベンチャー支援の取組」

厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課
ベンチャー等支援戦略室 主査 **米川 由也** 氏

2. 「MEDISOによるベンチャー支援の紹介」

株式会社三菱総合研究所
MEDISOプロジェクトマネージャー **川上 明彦** 氏

3. 「受託を活かすこれからの視点」

株式会社ミノファーマ製薬 顧問 **脇坂 盛雄** 氏

休憩 14:15～

3 Venture Side

14:25～

1. 「低分子薬による難病の根治的治療を目指して」

ラデナ・サイエンス株式会社（設立準備中）
代表取締役社長（予定） **長嶺 聖史** 氏

2. 「ベンチャー企業（委託側）が抱える課題」

ナノキャリア株式会社
執行役員研究開発企画部長 **小野寺 優子** 氏

3. 「Successful Collaboration with CDMO」

ジェイファーマ株式会社 最高技術責任者（CTO）
兼製造品証部長 **上嶋 康秀** 氏

4 Toyama's Manufacturing Side

15:10～

1. 「委受託委員会の取り組みについて」

富山県薬業連合会委受託委員会 委員長 **日詰 和重** 氏
（ダイト株式会社 取締役常務執行役員営業統括兼製薬本部長）

2. 「富士化学工業株式会社の取り組み紹介」

富士化学工業株式会社 経営企画室室長 **森泉 聖孝** 氏

3. 「富士製薬工業とCDMO」

富士製薬工業株式会社 執行役員研究部長 **金山 良成** 氏

4. 「CDMOとして新モダリティへの取り組み」

株式会社富士薬品 生産事業本部技術開発部部长 **野上 俊宏** 氏

休憩 16:00～

5 Panel Discussion

16:10～

テーマ

「受託ビジネスはさらに躍進できるか
～創薬ベンチャーとのマッチングの可能性～」

モデレーター

「くすりのシリコンバレー-TOYAMA」創造コンソーシアム
副事業責任者 **森 俊介** 氏

パネリスト

- **脇坂 盛雄** 氏
- **上嶋 康秀** 氏
- **野上 俊宏** 氏
- **日詰 和重** 氏
- **宮嶋 勝春** 氏

6 Closing Remarks

17:20～

申込期間

令和4年12月14日（水）まで
現地参加・オンライン視聴を希望される方は、
下記URL又は二次元コードからお申込ください。
<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/ewNyrpmP>

※1度のお申込みにつき1名の受付となります。
※会場参加は、定員（80名）に達し次第、締め切りとなります。
※新型コロナウイルスの感染状況によっては、プログラムの変更・イベントの中止となる可能性があります。



お問い合わせ先

富山県厚生部くすり政策課振興開発班
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
TEL:076-444-3236 FAX:076-444-3498
E-mail: akusuriseisaku@pref.toyama.lg.jp

主催/富山県
後援/（一社）富山県薬業連合



とやま×創薬ベンチャー MEET-UP DAY

登壇者略歴



①厚生労働省
医政局医薬産業振興・医療
情報企画課ベンチャー等支
援戦略室

主査

米川 由也 氏

登壇：基調講演

略歴：2013年大学卒業後、2021年に民間企業から厚生労働省のCovid-19ワクチン接種に関するプロジェクトチームに参画。2022年4月に官民交流制度で厚生労働省へ出向し、現在はベンチャー等支援戦略室にて医療系ベンチャー振興の促進に努めている。



②株式会社
三菱総合研究所

MEDISO
プロジェクトマネージャー

川上 明彦 氏

登壇：基調講演

略歴：2008年京都大学工学部工業化学科を卒業後、同年ノボノルディスクファーマ株式会社に入社。2018年1月現職である株式会社三菱総合研究所に入社。

医療系ベンチャー企業支援事業、医薬品等研究開発支援事業、医薬品等開発動向調査事業等の官公庁からの委託事業に従事している。

また、2020年4月より、社会人大学院生（博士後期課程）として希少疾患に関する医療レギュラトリーサイエンスを研究している。



③株式会社
ミノファergen製薬

顧問

脇坂 盛雄 氏

登壇：基調講演、パネルディスカッション

略歴：1979年エーザイ株式会社入社、9年間、品質管理と21年間、品質保証を担う。

専門領域はGQP品質保証、注射剤及び固形剤の異物対応、品質リスクの発見と低減対応・医薬品/食品の表示校閲、製品回収リスク回避対策・逸脱/苦情対応、変更管理（一変/軽微変更）対応。品質保証責任者（品質）、統括部長および理事を歴任し、2013年9月末に退職。

現在は企業のコンサル・顧問を行う傍ら講演会講師、書籍執筆などを精力的に行っている。



④ラデナ・サイエンス株式会社
（設立準備中）

代表取締役社長（予定）

長嶺 聖史 氏

登壇：講演

略歴：1999年京都大学医学部卒業、2006年筑波大学大学院博士課程修了（医学博士）。国立精神・神経医療研究センター神経研究所にて研究員として従事した後、東京都立神経病院にて脳神経内科医師として神経難病の診療を担当。2015年から医薬品医療機器総合機構にて新医薬品の治験相談及び承認審査業務を経験。2018年にアステラス製薬（株）に入社し、臨床開発に従事した後、2020年よりバイオジェン・ジャパン（株）にて神経疾患の臨床開発を担当している。現在、ラデナ・サイエンス株式会社の設立準備中。



⑤ナノキャリア株式会社

執行役員
研究開発企画部長

小野寺 優子 氏

登壇：講演

略歴：1992年ウィンチェスター頒栄カレッジ卒業後、1993年生化学工業株式会社入社。研究企画、海外営業、事業開発に従事。2005年認定NPO法人健康医療評価研究機構入社。グローバル研究事業受託プロジェクトにて日本におけるデータセンターコーディネーターに従事。2010年ナノキャリア株式会社入社。主に臨床開発・研究支援に従事した後、現在は研究開発企画部長としてプロジェクトマネジメントに携わっている。



⑥ジェイファーマ株式会社

最高技術責任者（CTO）
兼製造品証部長

上嶋 康秀 氏

登壇：講演、パネルディスカッション

略歴：1983年京都大学大学院工学研究科工業化学専攻修士課程修了。同年、帝人株式会社へ入社し、新薬創製研究所で免疫・炎症領域の研究に従事。1993年に京都大学工学博士号を取得し、東京大学医学部やワシントン大学医学部にて客員研究員を務める。その後、製剤研究所でDDS及び薬剤物性研究のリーダー、創薬推進部副部長等を務めるとともに、複数のプロマネを実施。2015年にブライトパス・バイオ株式会社へ入社し、製造品証部長を務めたのち、現在、ジェイファーマ株式会社にてCTO兼製造品証部長となる。



⑦富山県薬業連合会委受託委員会 委員長

ダイト株式会社
取締役常務執行役員営業統括
兼製薬本部長

日詰 和重 氏

登壇：講演、パネルディスカッション

略歴：1985年富山大学経済学部卒業。同年、ダイト株式会社（旧大東交機株式会社）へ入社。原薬事業及び製薬事業の営業部門に従事。現在は、取締役常務執行役員営業統括兼製薬本部長。



⑧富士化学工業株式会社

経営企画室室長

森泉 聖孝 氏

登壇：講演

略歴：富山医科薬科大学薬学研究科薬化学専攻修了、2005年4月富士化学工業株式会社入社。有機合成、スプレードライ、製剤の研究開発に従事。2015年より関連会社に出向し、創薬活動に携わる。現在は、富士化学工業に帰任し、事業開発活動を行っている。



⑨富士製薬工業株式会社

執行役員研究部長

金山 良成 氏

登壇：講演

略歴：1986年富山大学工学部修士課程修了。同年、富士製薬工業株式会社へ入社。診断薬開発部門、医薬品開発部門に所属し、薬剤安定化医薬品組成、薬剤製造方法等、複数の特許を出願。富士製薬工業がCDMOを行う初期から関わり、研究部門での製剤設計、治験薬製造のみならず、製造部門にも在籍し、製品化までの経験をもつ。



⑩株式会社富士薬品

生産事業本部
技術開発部部长

野上 俊宏 氏

登壇：講演、パネルディスカッション

略歴：国立富山工業高等専門学校工業学科を卒業後製薬の研究職に就く。富山大学で和漢研での生薬研究に着手。富士薬品へ入社後、品質管理、ビジネス関連部門を担当し、現在はバイオ関連製剤のCDMO事業を遂行し、技術開発部部长を務める。



⑪[くすりのシリコンバレー TOYAMA] 創造コンソーシアム
アドバイザーボード委員

ナノキャリア株式会社
取締役（監査等委員）

宮嶋 勝春 氏

登壇：パネルディスカッション

略歴：1979年ゼリア新薬工業(株)に入社後、今日までテルモ(株)研究開発センター主任研究員、奥羽大学薬学部准教授、武州製薬(株)製造技術部部长などを務め、一貫して製剤研究・開発・製造を担当。また、1985年から2年半の間米国ユタ大学に留学、1994年千葉大学にて博士（薬学）を取得、2015年日本薬剤学会より「製剤の達人」の称号を受ける。専門は、製剤開発、GMPで、これまでISPE日本支部理事、製剤機械技術学会理事、日本薬剤学会評議員などを務める。

